

しろくま通信



これまで話してきました「お盆」も今回でおしまいです。墓にはよく地蔵菩薩が置かれていますが、流産などでこの世に生まれることが出来なかった水子のために、あの世で子どもを守ってくださいと置かれることが多いようです。六地蔵と言って六体あることが多いですが、これは六道輪廻の六から来ています。幼くして両親より早くこの世を去った子どもたちは、賽（さい）の河原で仏塔を作ろうと石を積んでいます。

そこに鬼が来て、子どもたちに「そんなことしても何もならない」と言い、壊してしまいます。その鬼から守ってくれるのが地蔵菩薩です。この世に残された親は、なぜ自分より早く死んでしまったのかと我が子に問いますが、これが親を苦しめ、子の罪ということになります。では、子の罪をなくすにはどうすればいいのでしょうか。これは、先立った我が子のことをだんだんと忘れていくしかありません。しかし、なかなか忘れられるものではありません。そこで、地蔵菩薩に願いを託すことになります。赤いよだれかけを着せたり、笠を掛けたりして地蔵菩薩に手を合わせることで、先だった者への弔いになるでしょう。



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<https://babayakkyoku.com>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！

